

# Sui Sui MIX

## 混合栓用

このたびは自動水栓「SuiSui」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能が十分に発揮されますよう、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

---

安全上のご注意	1	電池交換	7
仕様・本体寸法図	2	ストレーナーの清掃	8
各部の名称	3	使用上のご注意	8
作動のしくみと使い方	4	LED表示の種類	9
取付前のお願い	4	故障かな?と思ったら	10
取付方法	5	保証書	11

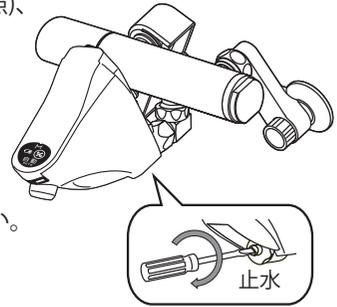
---

工事業者様へのお願い：必ずユーザー様へお渡しください。



## 安全上のご注意

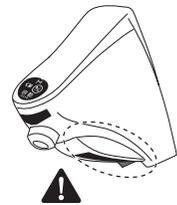
1. 万が一水が止まらなくなった時は、止水栓(右図参照)、または水道の元栓を閉めて止水してください。そのまま放置しておきますと漏水による事故の原因となります。



2. 本製品をご自分で分解・修理・改造しないでください。故障または事故の原因となります。
3. 水温40℃以上の水が出る配管には本製品を使用しないでください。使用しますと、吐水口から熱湯が出てやけどをするおそれがあり危険です。
4. 上水道を使用してください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、製品の故障原因になるばかりでなく、飲用した場合体調を損ねることもあります。
5. 電池を充電・ショート・分解・加熱したり、火中に投入しないでください。漏液・発熱・発火・破裂・膨張等の原因となります。

6. 本製品に直接水をかけないでください。故障の原因になります。

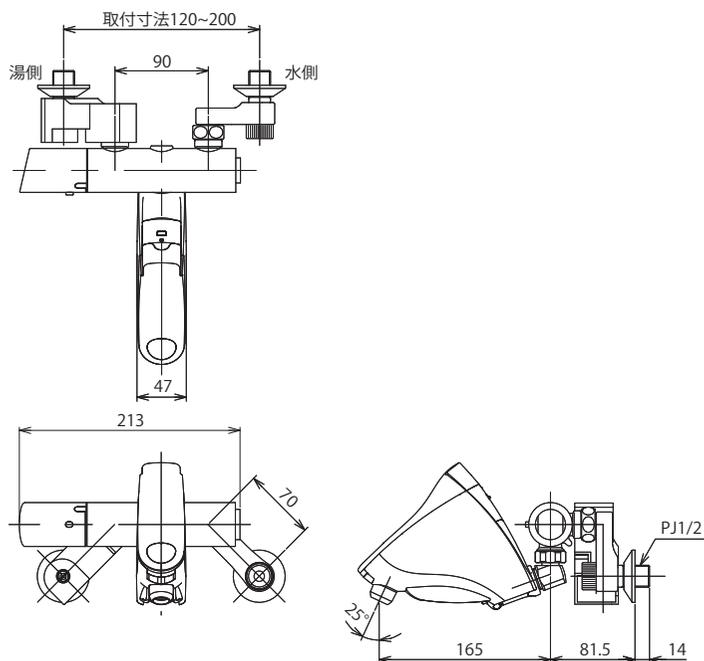
7. 点線部分は鋭利になっていますのでご注意ください。



8. お掃除の際、鋭利部分を強く触るとケガをする恐れがありますのでご注意ください。
9. お掃除の際、本体を強くこすらないようにご注意ください。手動ボタンや本体のメッキが剥がれてしまいます。

## 仕様・本体寸法図

使用電源	アルカリ乾電池 単3×2本
電池寿命	1日100回使用(吐水+止水で1回とする)で約3年
電池交換告知	LEDが点滅
手動吐水機能	吐水停止中手動スイッチを押すと吐水(連続吐水時間60秒) 吐水中に手動スイッチを押すと止水
自動吐水停止機能	待機中に手動スイッチを3秒以上押すと2分間自動吐水を停止 自動吐水停止中に手動スイッチを1秒以上押すと解除
センサ方式	赤外線反射方式
作動弁方式	パイロット型電磁弁
給水圧力	最低必要水圧 0.05MPa(動水圧) 最高水圧 0.75MPa(静水圧)
使用温度範囲周囲	周囲1~50℃、水温1~40℃
外装	ABS樹脂(クロムメッキ)



単位：mm

# 各部の名称

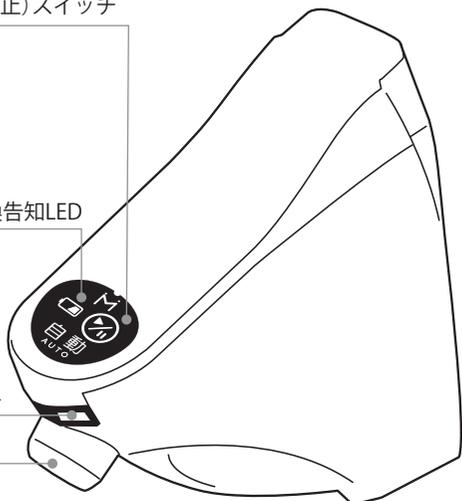
## 自動水栓 本体部

手動(出/止)スイッチ

電池交換告知LED

センサー

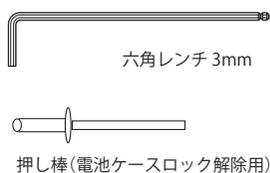
吐水口



アルカリ乾電池 単3×2本  
(標準付属)



【付属工具】



## サーモユニット部

温度調節ハンドル

安全ボタン

ストレーナー

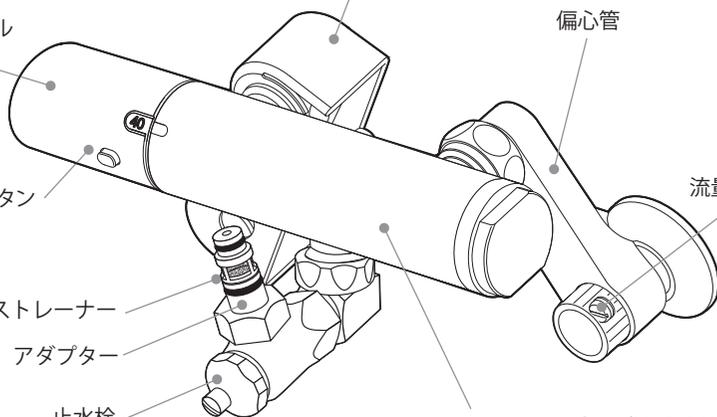
アダプター

止水栓

断熱カバー

偏心管

流量調節栓



サーモユニット本体 (U12-20X3-MM)

※詳細は別紙、取扱説明書、施工説明書を参照下さい。

# 作動のしくみと使い方

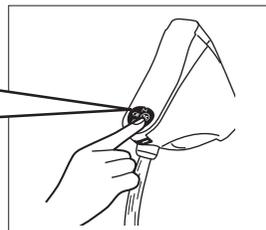
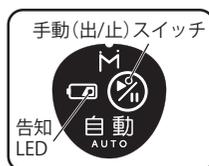
## 1. 自動吐水

- » 吐水口に手を近づけると、水が出ます。  
(吐水口上部のセンサーが感知して水が出る)
- » 手を離すと約1秒後に水が止まります。  
※30秒間連続して感知すると自動的に水が止まります。  
再び水を出したい場合は、  
一度手を離してから、再度手を近づけてください。



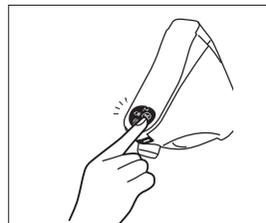
## 2. 手動吐水

- » 手動スイッチを押すと水が出ます。  
(60秒後に自動止水)
- » 手動スイッチを押すと水が止まります。



## 3. 自動吐水停止

- » 手動スイッチを水が止まるまで押し続けるとLEDが点滅し、  
自動吐水が2分間停止します。
- » 手動スイッチを1秒以上押すと一度吐水し、  
その後自動吐水に戻ります。



## 取付前のお願い

1. お取付予定の現場を確かめ、本製品が適合する品番であるかどうか、再度ご確認ください。
2. 本製品は屋内用です。屋外では使用しないでください。
3. 高温多湿な所では使用しないでください。
4. 凍結のおそれのある所では使用しないでください。
5. 上水道を使用してください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、  
製品の故障原因になるばかりでなく、飲用した場合体調を損ねることもあります。
6. 水温40℃ 以上の水が出る配管には本製品を使用しないでください。
7. 本製品取り付け後はホースを使用しての散水等ではできません。

# 取付方法

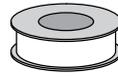
## ⚠ 取付け前に必ず行なってください

配管内のシールテープ、ゴミ、くず等  
きれいに取り除き、必ず通水して配管内の  
ゴミを完全に洗い流してください。

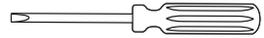
### 【必要な工具】



モンキーレンチ



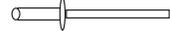
シールテープ



マイナスドライバー



六角レンチ3mm(付属)

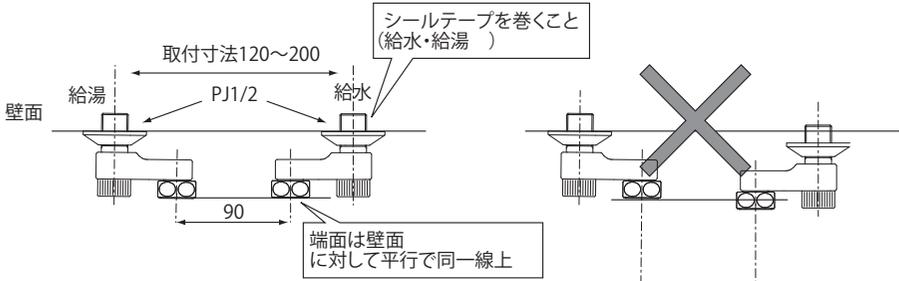


押し棒(電池ケースロック解除用:付属)

## STEP1 サーマユニット部を取り付ける

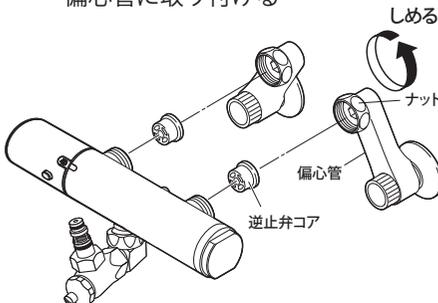
※詳しい取り付け方法は別紙、取扱説明書(施工編)を参照下さい。

### ① 偏芯管を壁の配管に取り付ける

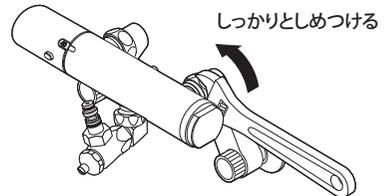


### ② サーマユニット本体を取り付ける

(1) サーマユニット本体を  
偏心管に取り付ける



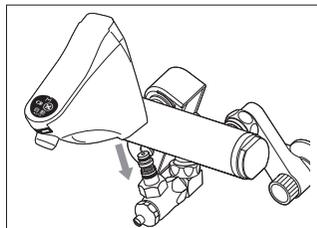
(2) 偏心管に固定する



### ③ 断熱カバーを取り付ける

## STEP2 自動水栓本体を取り付ける

- ①水栓本体をアダプターに差し込む  
※アダプターに対してまっすぐ差し込み、  
斜めに差し込まないように注意してください。

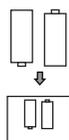


- ②六角レンチで(付属)で本体後ろ側の固定ネジをしめる

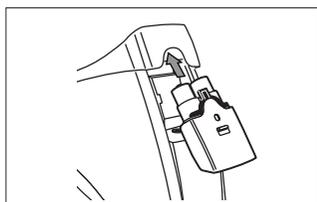


## STEP3 電池をセットする

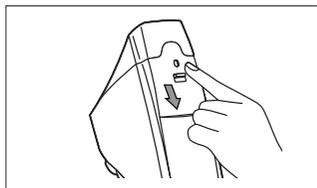
- ①乾電池を(付属)を電池ケースに挿入し、  
電池ケースをセットする。  
※電極の＋の位置にご注意下さい。



電池ケース裏



- ②電池ケースをロックする



### <使用可能状態の確認>

告知LED



電池をセットすると、LEDが約2～5秒間点滅します。  
センサーが感知距離等を確認している状態です。  
確認終了とともにLEDが消え、使用可能状態になります。

LEDの点滅が消えない場合は、  
センサーが手洗器・洗面器などの“何か”を感知している状態です。

その場合は…

- センサー感知距離内にある障害物を取り除いてください。

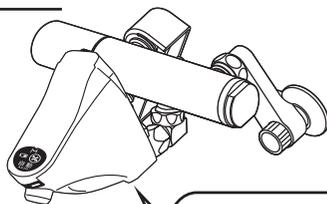
※解決しない場合は、センサーが機能せず、取り付けできません。  
ユーザーサポート窓口までお問合せください。

## STEP4 元栓をあける

### ① 止水栓をあける

※偏芯管の止水栓・流量調整用止水栓をあけ、水漏れがないか確認してください。

### ② 止水栓を回して吐水量を調節する



## 電池交換

電池が消耗し電圧が低下するとLEDが点滅してお知らせします。

このサインが出たら、早めに電池を交換して下さい。

※上記の電池交換表示が出てもしばらくは通常動作を続けますが、やがて動作が停止します。

電池を交換することで復旧します。

## STEP1 電池ケースのロックを解除する

### ① 押し棒 (付属) で押しながら、

### ② ロックを上げて、解除する



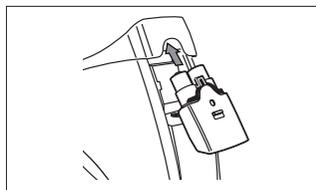
## STEP2 新しい電池をセットする

使用電池: アルカリ乾電池 単3×2本

### ① 新しい電池を電池ケースに挿入する

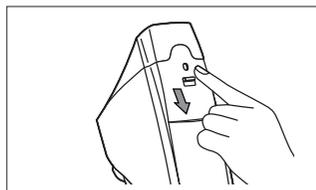
### ② 電池ケースをセットする

### ③ 〈使用状態の確認〉をする →P7、「STEP4電池をセットする」参照



## STEP3 電池ケースをロックする

### ① ロックを下げて、電池ケースをロックする

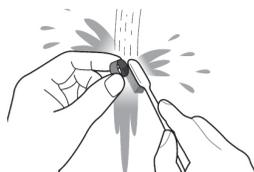
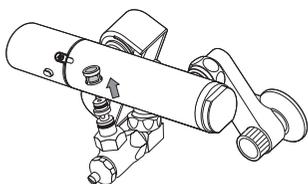


## ストレーナーの清掃

ストレーナーにゴミ等が詰まると水の出が悪くなります。  
その場合は、下記の要領でストレーナーを清掃してください。

### 《水栓アダプタ部》

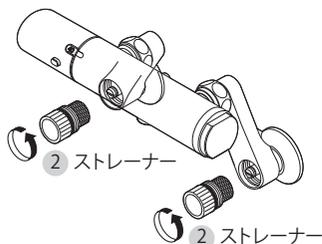
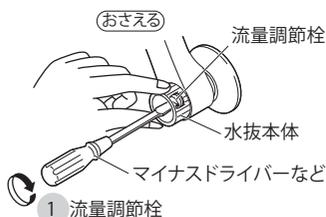
- ①元栓を止め、本体を取り外し、ストレーナーをはずす
- ②ハブラシなどで網部分を掃除する



### 《サーモユニット部》

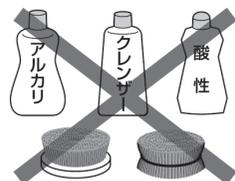
※詳しい取り付け方法は別紙、取扱説明書(施工編)を参照下さい。

- ①元栓を止め、流量調節栓を回し止水する
- ②ストレーナーをはずす
- ③ハブラシなどで網部分を掃除する

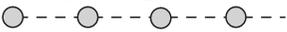
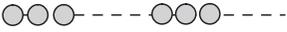
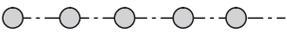


## 使用上のご注意

1. 本製品は電子機器です。丁寧に扱い、衝撃等を与えないでください。
2. お手入れの際は、次の点にご注意ください。
  - 汚れは乾いた布、または水をよく絞った布で拭いてください。
  - 酸性・アルカリ性洗剤、クレンザー類は使用しないでください。  
外装が傷ついたり、化学変化を起こして変質・変色します。
  - 本製品をナイロンたわしやブラシ等でゴシゴシ擦らないでください。  
外装が損傷します。
3. センサー部の汚れは、誤作動の原因となります。  
センサー部が汚れたら、やわらかい布で拭き取ってください。



## LED表示の種類

LED表示	表示内容
2～5秒間点滅	電池セット直後に点滅します。これは、センサーが感知距離等を確認している状態です。確認終了とともに消え、使用可能状態になります。
約0.5秒間隔で点滅 	電池セット後、センサーが手洗器・洗面器などの“何か”を感知しているため、感知距離等が確認できていない状態です。 →P6 <使用可能状態の確認> 参照
約1秒間隔で点滅 <電池交換告知> 	電池交換告知です。電池が消耗し電圧が低下していますので、早めに電池を交換してください。→P7
約2秒おきに3回連続点滅 <電池交換告知(動作停止)> 	電池が完全に消耗し、動作停止状態になりました。 電池を交換してください。→P7
約2秒間隔で点滅 <自動吐水停止中> (時間経過とともに点滅間隔短くなる) 	手動スイッチを3秒以上押して、自動吐水が停止した状態です。手動スイッチを1秒以上押すと自動吐水停止状態が解除され、点滅も止まります。自動吐水停止状態は、最長2分間継続しますが、解除までの残り時間が少なくなるにつれて点滅間隔が短くなります。
約8秒おきに2回連続点滅 	自動吐水状態が30秒間続いて吐水が停止した状態です。センサー感知距離内にある障害物を取り除いてください。また、洗面ボールに水がたまっている場合は、いったん水をはらってください。
約8秒間隔で点滅 	手や物などをセンサーが感知して自動吐水を行なっている時に、手動スイッチを押した為に、吐水が停止した状態です。そのままの状態です吐水を再開したい場合は、手動スイッチを押すと通常に自動感知状態に戻り、吐水を再開します。また、センサーが感知している手や物などを取り除いても、通常の自動感知状態に戻ります。

## 「故障かな？」と思ったら

“故障かな？”と思ったら、以下の事項をご確認ください。それでも状況が改善されない場合は、ユーザーサポート窓口 ☎0120-474-647へお問合せください。

### ■ 水が出ない

状 況	原 因	処 置
約1秒間隔でLEDが点滅	電池が消耗	電池を交換してください。→P7
約2秒間隔でLEDが点滅	自動吐水停止機能作動中	手動スイッチを1秒以上押してください。→P4
約8秒間隔でLEDが点滅	自動吐水状態が30秒以上続いて吐水が停止した	①センサー感知距離内の障害物を取り除いてください。 ②洗面ボールの水をはらって下さい。
0.5秒間隔でLEDが点滅	センサー感知距離調整不能	センサー感知距離内の障害物を取り除いてください。
LED点滅なし “カチッ”という動作音あり	止水栓がしまっている	止水栓をあけてください。
LED点滅なし “カチッ”という動作音なし	電池消耗	電池を交換してください。→P7
	センサー部の汚れ	センサー部をよく拭いてください。

### ■ 水の出が悪くなった

状 況	原 因	処 置
正常動作、LED点滅なし	センサー部の汚れ	センサー部をよく拭いてください。
	止水栓で吐水を絞ってある	止水栓をあけてください。
	ストレーナーが詰まっている	ストレーナーを清掃してください。→P8

### ■ 水が止まらない

処 置	
①手動スイッチを押してください。→P4	
②センサー部をよく拭いてください。	
③センサー感知距離内の障害物を取り除いてください。	
④洗面ボールの水をはらってください。	
⑤上記の処置をして止水はしたが自動感知に戻らない場合は、手動スイッチを約10秒以上、LEDが点灯するまで押してください。LEDが消えれば、自動感知に戻ります。	

### ■ 水が漏れる

状 況	原 因	処 置
水栓本体からの水漏れ	本体固定のゆるみ	本体を取り外し、取り付け直してください。→ P6、7
	アダプター取付部分にゴミがくんでいる	本体を取り外し、付着しているゴミを取り除き、取り付け直して下さい→ P6、7
吐水口周囲の水漏れ	吐水口の金具のゆるみ	吐水口の金具をしめてください。

# 保証書



株式会社ミナミサワ

〒381-0044 長野県長野市中越1-2-22

Tel.026-263-3100 Fax.026-263-8700

## 工事業者様へのお願い

下記内容をご記入いただき、必ずユーザー様へお渡しください。

保証書の再発行はいたしておりません。製品と共に大切に保管してください。

品番	製造番号
ご購入年月日	
保証期間	1年
お買上げ工事店(販売店)	
お名前	
ご住所 〒	
お電話番号	
(印)	

見本

## 製品保証規定

本製品が取扱説明書に従った正常な使用状態や動作仕様条件のもとで故障した場合、

お買上日から1年間は無償で商品を交換させていただきます。

交換させていただく際の送料は、保証期間内の場合に限り弊社で負担いたします。

ただし、交換品を設置する際の作業料金や出張料金はおお客様のご負担となります。

製品交換となった場合の保証期間は、交換前の製品保証期間に準じます。

以下の場合、保証書および品質保証規定は無効となり、適用されません。

- ・バルブ・配管の不具合(詰まりや水漏れ、水量不足、低水圧)など、製品以外の不具合の場合。
- ・再生水の水質が起因する不具合。  
(高塩素濃度によるダイヤフラム劣化、異物による部品の小穴詰まり等)
- ・取扱説明書に従わない誤った使用、およびお客様自身での修理や改造による不具合、損傷。
- ・お買上後の落下、衝撃などによる不具合および損傷。
- ・火災・地震・水害・落雷・その他天災地変や凍結、ガス害、塩害による不具合・損傷。
- ・電池の消耗による不具合。
- ・配管から流入した砂、さび、ゴミなどの異物による不具合。
- ・外部の汚れ、さび、メッキはがれなど、機能に影響のない不具合。
- ・赤外線に影響を与える外部環境要因による不具合。

- 施工説明書 **確認編**
- 施工説明書 **施工編**
- 取扱説明書 **使用編**
- 取扱説明書 **メンテナンス編**

# 施工説明書 **確認編**

(施工業者様は、はじめにお読みください。)

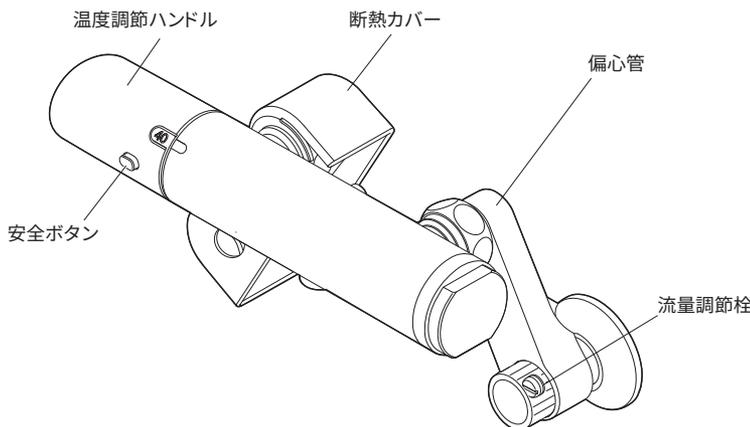
- 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

## 1. 品名・品番を確認する。

品名： **サーモユニット(サーモ混合栓タイプ)**  
本製品は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つユニットです。

品番： **U12-20X3-MM**

## 2. 仕様・各部の名称



# 3. 施工に関する安全上のご注意

用語および記号の説明

## 警告

必ずお読みになり、記載事項を守ってください。  
「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」



「注意しなさい！」  
(左記 警告・注意と併用して注意をうながす記号です。)



「してはいけません」  
(一般的な禁止記号です。)



「分解してはいけません」



「指示通りにしなさい！」  
(一般的な行動指示記号です。)

## 注意

必ずお読みになり、記載事項を守ってください。  
「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

**警告**

やけど・故障・水漏れのおそれ

修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。

分解禁止 故障や水漏れの原因になります。

同梱の部品以外は使用しないでください。

禁止 故障や水漏れの原因になります。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。

禁止 85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

湯水を逆に配管しないでください。

禁止 正常に作動しないため、やけどをする事があります。なお、逆配管の場合は逆配管アダプター(別売)を使用する事で、逆配管でも表示通りに湯水を使用する事ができます。

**警告**

やけど・水漏れのおそれ

ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナ本体をゆるめず、流量調節栓を閉めてから行ってください。

必ず実行 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。

必ず実行 使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。

**注意**

故障・水漏れのおそれ

製品に強い力や衝撃を与えないでください。

禁止 故障や水漏れの原因になります。

凍結が予想される地域にはとりつけないでください。

必ず実行 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

# 4. 適切な使用条件

給水・給湯圧力：	
最低必要水圧(流動時)：	0.05MPa
最高使用水圧(静止時)：	0.75MPa
使用最高温度：	40℃以下
使用可能水質：	水道水及び飲用可能な井戸水
用途：	一般住宅用

**給水・給湯圧力についてのご注意**

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧にするようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

**給湯についてのご注意**

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、**50~60℃給湯をおすすめします。**
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 自動お湯はりなど一時止水機構を持った給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても水が若干出る事があります。これは、水栓の破損防止機構が働いているためです。このような場合は水栓のハンドル側で水を止めてください。

**その他のご注意**

- 給水は、上水道に接続してください。
- 施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

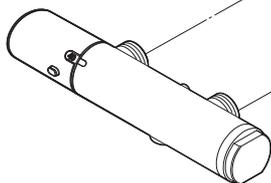
# 5. 梱包内容

- 開梱の際は、製品に傷をつけないようご注意ください。
- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

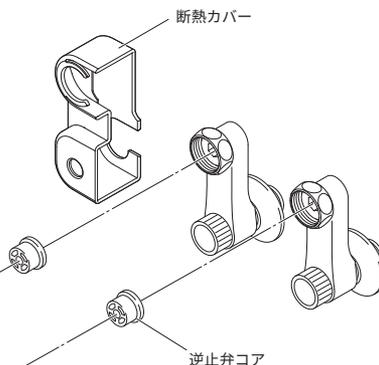
## 本書（計4枚）

- ◆ 施工説明書 確認編
- ◆ 施工説明書 施工編
- ◆ 取扱説明書 使用編
- ◆ 取扱説明書 メンテナンス編

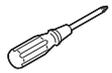
## 本体



## 偏心管×2



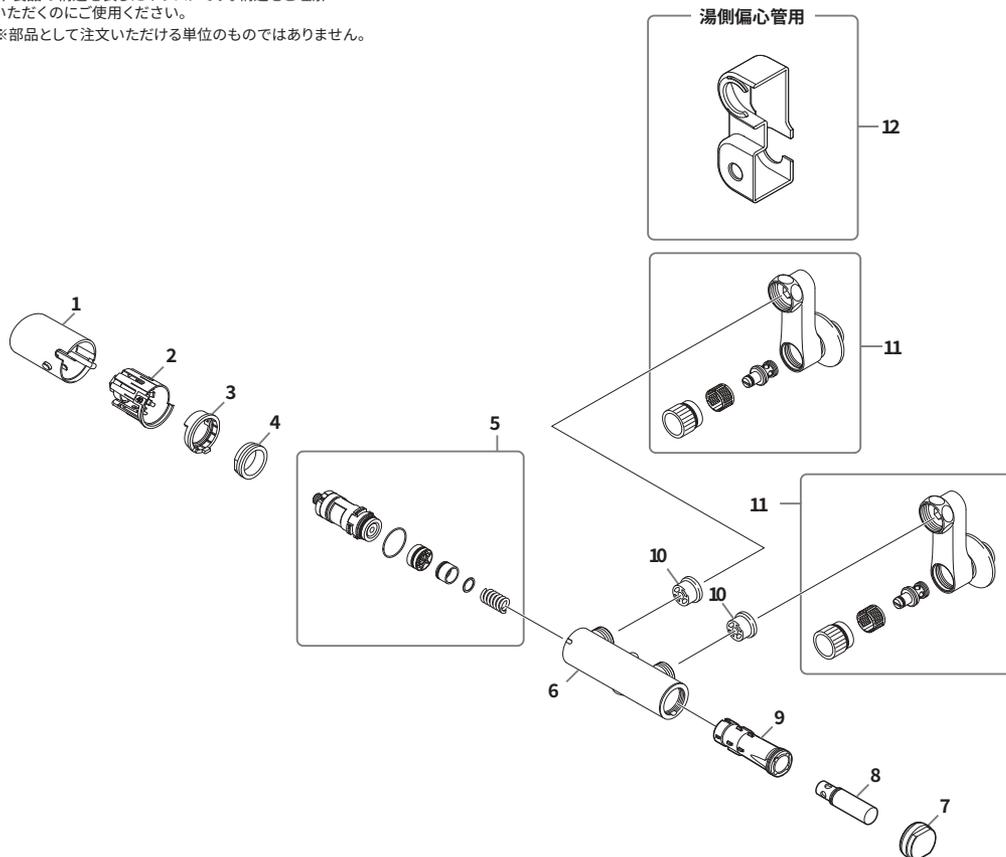
# 6. 必要な工具

シールテープ	スパナ・モンキーレンチなど	使い古しのハブラシなど
水栓の偏心管を配管に取付ける際に必要です。	水栓のナットが回せる工具。	配管掃除ができるもの。
		
手袋	タオルなど	ぞうきんなど
ケガ防止のために着用してください。	ケガ防止や水栓保護のために使用します。	配管中の残り水を拭く際に使用します。
		
止水栓キー	電動ドリル	プラスドライバー
止水栓がキー式の場合に必要です。	シャワー掛具を取付ける際に必要です。	シャワー掛具を取付ける際に必要です。
		

# 7. 本製品の構造

●本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解  
いただくのにご使用ください。

※部品として注文いただける単位のものではありません。



## U12-20X3-MM

### 一般用

- 1 温調ハンドル
- 2 温調ガイド
- 3 温調ストッパー
- 4 プッシング
- 5 サーモカートリッジ
- 6 胴
- 7 プッシング
- 8 ガイド
- 9 カバー
- 10 逆止弁コア
- 11 偏心管
- 12 断熱カバー

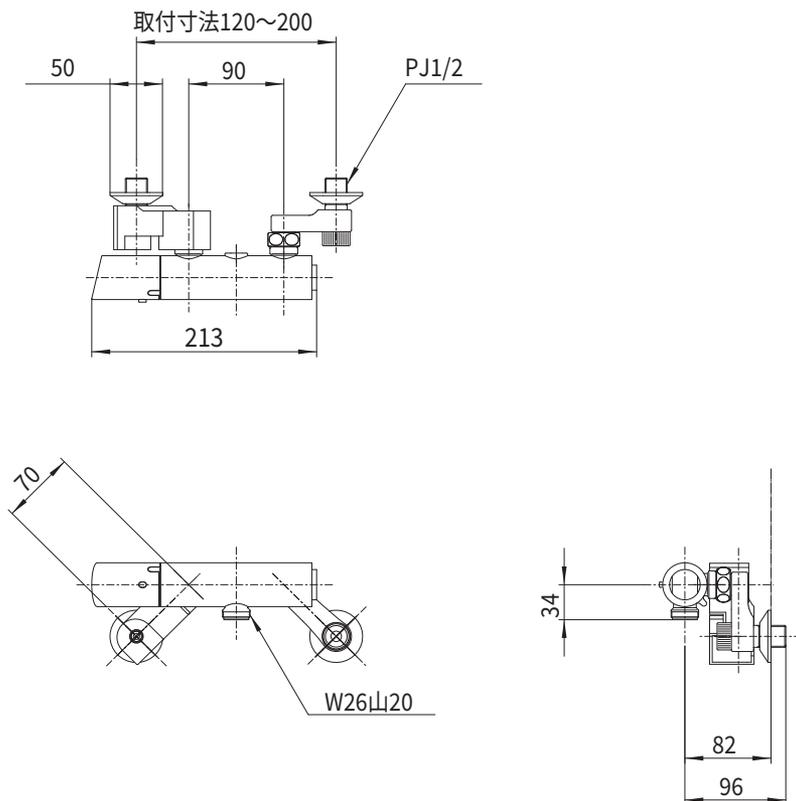
<input type="checkbox"/> 施工説明書	確認編
<input checked="" type="checkbox"/> 施工説明書	施工編
<input type="checkbox"/> 取扱説明書	使用編
<input type="checkbox"/> 取扱説明書	メンテナンス編

# 施工説明書 施工編

(施工の際にお読みください。)

- 施工の際にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

## 8. 寸法図



# 9. 配管内を掃除する。

## ⚠ 注意

故障・止水不良のおそれ



必ず実行

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、  
**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。**

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、  
**この場合には有償修理となります。**

(元栓の閉め方については、下記を参照してください。)



### 元栓の閉め方

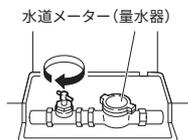
元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

- ※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※ 一部の地域では左回しの場合があります。
- ※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

### 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあつたりします。

#### ハンドル式

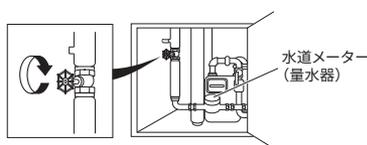


#### キー式



### マンションなどの中層住宅の元栓ボックス：

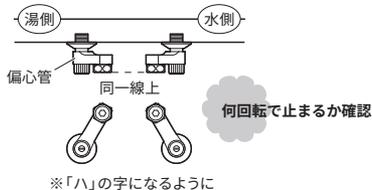
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガス of メーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



# 10. 偏心管を取付ける。

## (1) 偏心管の取付回転を確認します。

偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回転を確認します。



取付回転数は後で偏心管を仮固定する際の目安にします。



## (2) 偏心管にシールテープを巻きます。

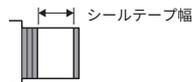
ねじに向かって右向きに、10 回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。



### ⚠ 注意

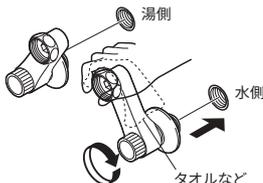
シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。



## (3) 偏心管を仮固定します。

偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右に回して入れます。手順(1)で確認した回転数の、少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともに回して止めておきます。



手順(1)の少ない方の回転数より1回転少ない位置で止める

### ⚠ 注意

漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないてください。もしもゆるめてしまった場合は、手順(2)をもう一度はじめて行ってください。

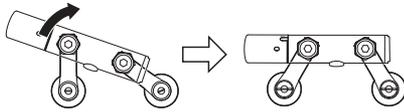
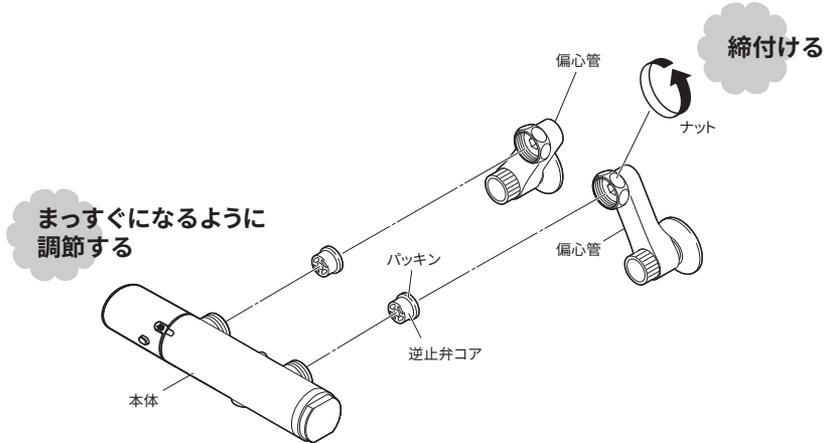
右図のように偏心管を少し手前で止めておくことで、ねじ込みすぎを防止します。



# 11 ● 水栓本体を取付ける。

## (1) 水栓本体を偏心管に取り付けます。

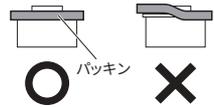
水栓本体と偏心管の間に逆止弁コアが入っていることを確認し、水栓本体がまっすぐになるように調節しながら、偏心管のナットを手で締付けてください。



※「八」の字になるようにまっすぐ

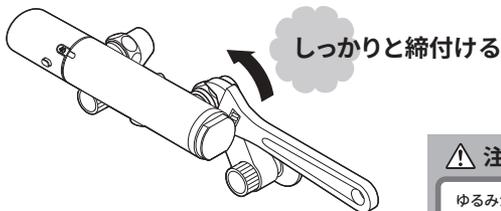
### ⚠ 注意

- 漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしゆるめてしまった場合は、**10 (2)** からやり直してください。
- 偏心管にパッキンが残っている場合は、逆止弁コアに正しく組付けてください。
- 水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。



## (2) 水栓を偏心管に固定します。

モンキーレンチなどでナットをしっかりと締付けてください。

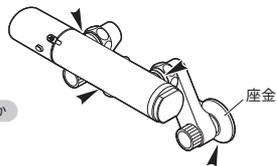
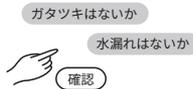


### ⚠ 注意

ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

## 12 ● ガタツキ・水漏れチェックをする。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。  
ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。  
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

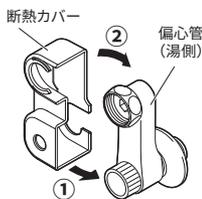


最後に座金を壁面に締付けて完了です。

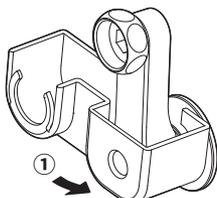
※ 温度調節・流量調節をされる場合は、取扱説明書 使用編 参照ください。

※ ストレーナの掃除をされる場合は、取扱説明書 メンテナンス編 参照ください。

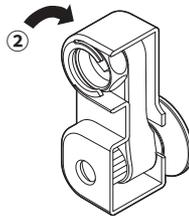
## 13 ● 断熱カバーを取付ける。



取付足部にはめ込みます。



ナット部にカチッと音がするまではめます。



必ず自動水栓の専用説明書もご確認ください。

- 施工説明書 **確認編**
- 施工説明書 **施工編**
- 取扱説明書 **使用編**
- 取扱説明書 **メンテナンス編**

# 取扱説明書 **使用編**

(正しくご使用いただくためにお読みください。)

- ご使用の前にこの説明書を**必ずお読み**のうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に**必ず保管**してください。

## 1. 品名・品番を確認する。

**品名：** サーモユニット (サーモ混合栓タイプ)  
本製品は、サーモスタートの働きで混合水の温度を一定に保つユニットです。

**品番：** U12-20X3-MM

※ 仕様・各部の名称については、**施工説明書 確認編 2.**を参照ください。

## 2. ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって**重大な結果(障害・物損)に結び付く可能性**があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 用語および記号の説明

### 警告

必ずお読みになり、記載事項を守ってください。  
「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

### 注意

必ずお読みになり、記載事項を守ってください。  
「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



「注意しなさい！」  
(上記 警告・注意 と併用して注意をうながす記号です。)



「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)



「分解してはいけません！」



「指示した場所に触れてはいけません！」



「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)



記載事項を守らなかった場合に生じる**おそれのある事態**を示しています。



### 警告

やけど・ケガ・故障・水漏れのおそれ



禁止  
やけど  
ケガ

小さいお子様だけのご使用は、  
避けてください。

やけど・けがをするおそれがあります。



分解禁止  
やけど  
ケガ  
故障  
水漏れ

分解は、保守・点検の決められた  
項目以外はしないでください。  
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏  
れて家財などを濡らす財産損害発生のお  
それがあります。



禁止  
故障  
水漏れ

使用温度は40℃より高温で使用しないでください。  
40℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、  
水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害  
発生のおそれがあります。



必ず実行  
やけど

温度調節ハンドルの温度位置を  
確かめて吐水してください。  
高温の湯が出てやけどをするおそれがあり  
ます。



確認

# 警告

やけど・故障・水漏れのおそれ



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。  
温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。



ストレーナ本体はストレーナの掃除以外の目的で開けないでください。  
ストレーナ本体をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナ本体をゆるめず、流量調節栓を閉めてから行ってください。  
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度がまっているか確認してください。  
凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。



# 注意

ケガ・故障・水漏れのおそれ



製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
故障や漏水の原因になります。



(樹脂メッキ付部品の場合)  
樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。  
●鋭利な物を当てる  
●衝撃を与える  
●落とす  
メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

・ハンドル など

# 注意

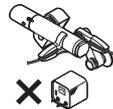
故障・水漏れのおそれ



製品に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。  
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。  
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



長期間使用しない時は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。  
水漏れなどの事故の原因になります。



# 注意

その他



使い始めの水がおう場合は、しばらく流してからお使いください。  
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

# 3. 温度の調節方法

## 温度調節ハンドルの操作方法

目盛をポイントに合わせてください。(数字は温度の目安としてご使用ください。)

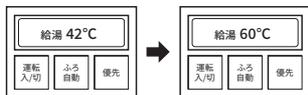


### 注意

- 安全ボタンを押さずに回すと器具を破損するおそれがあります。
- 高温の湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを40以下に戻してしばらく水を流してください。

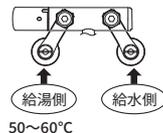
※本製品はやけど防止のため、安全ボタンを押してH最大まで回しても水が混ざる構造となっており、H最大まで回しても給湯機の設定温度より低温の湯が出ます。

※安全ボタンを押して温調ハンドルをまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機(給湯リモコンなど)の給湯温度を50~60°Cに設定した後、水栓側の温度調節ハンドルをH側へ回してください。



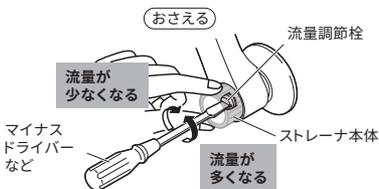
## 給湯機の設定について

- 給湯機(給湯リモコンなど)の給湯温度は、誤操作などによるやけど防止のため、50~60°C設定をおすすめします。
- 給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、給湯機の温度設定を下げてください。

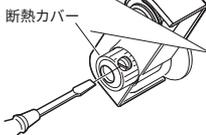


設定・調整作業は承っておりますが、有料作業となります。  
(作業費として、「技術料」+「部品代」+「出張料」を請求させていただきます。)  
実作業を伴わずに復旧した場合は、「出張料」のみの請求となります。

# 4. 流量の調節方法



### 湯側偏心管の場合



### 注意

ストレーナ本体が回らないように、ストレーナ本体をもって流量調節栓を回してください。ストレーナ本体がはずれると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害のおそれがあります。

# 5. 温度調節ハンドルの設定方法

- 温度調節部は工場出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の設定を行ってください。

1 給湯機の給湯温度を設定します。

給湯温度の設定については

3. を参照ください。

2 温度調節ハンドルをはずします。



- ※ハンドルははめ込み式のため、強く引っ張って抜いてください。
- ※ハンドルがはずれない場合は、ハンドル背面のツメをマイナスドライバーなどで押しながらはずしてください。



3 温調ガイドの目盛と関係なく吐水温度が適温(およそ40°C)になるように、温調ガイドを回します。



4 吐水温度が適温(およそ40°C)になる位置で、温調ガイドをはずします。



- ※ガイドははめ込み式のため、強く引っ張って抜いてください。

5 目盛の40の文字と本体のポイントに合わせて、温調ガイドを取付けます。

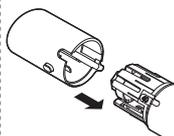


- ※ガイドはカチッと音がするまで押し込んでください。

### 注意

- 目盛・数字とも目安としてご使用ください。
- 温調ガイドを取付ける時、栓棒を回さないようにしてください。

6 温度調節ハンドルを取付けます。



- ※ハンドルを取付ける際、安全ボタンを押し込まないでください。部品が破損するおそれがあります。
- ※ハンドルはカチッと音がするまで押し込んでください。

### 注意

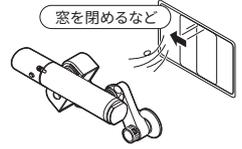
温度調節ハンドル取付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開に回し、給湯機が着火しないことを確認してください。着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。

## 6. 凍結の予防方法

●凍結のおそれがある場合は、次の処置によって一般用でも凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

凍結による破損は保障期間内でも有料修理となります。



- 施工説明書 確認編  
 施工説明書 施工編  
 取扱説明書 使用編  
 取扱説明書 メンテナンス編

# 取扱説明書

## メンテナンス編

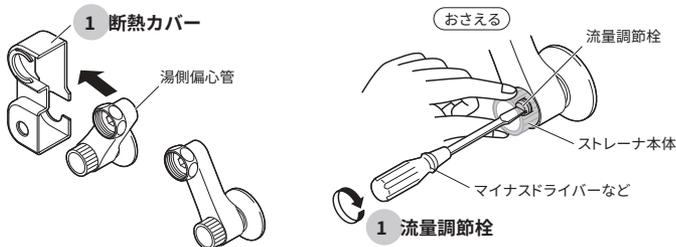
(製品を末永くご使用いただくために。)

- 製品を末永くご使用いただく上で必要な事項です。必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合は、お買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

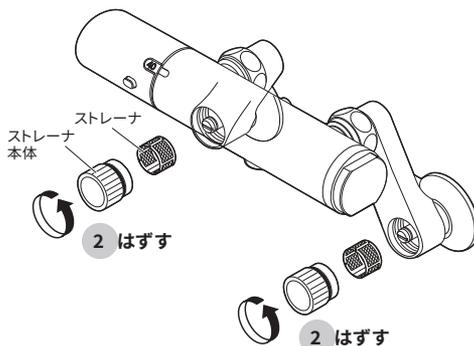
- ストレーナの汚れを放置しておく、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

## 7. ストレーナの掃除方法

- 1 湯側偏心管の断熱カバーをはずし、流量調節栓を右に回し、止水します。



- 2 ストレーナ本体とストレーナをはずします。



### ⚠ 注意

流量調節栓の閉めが不十分な場合、ストレーナ本体を回す際一緒に動きます。確実に流量調節栓を開けてから、ストレーナ本体をはずしてください。

- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。



### 再使用时

ストレーナをストレーナ本体に組付けてください。ストレーナ本体を偏心管に取り付けた後、流量調節栓を開けてください。

# 8 ● 末永くご使用頂くために、下記の事項をお守りください。

## 汚れが付いたら、すぐに拭き取る。

●製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

### 拭き取り方

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

### 注意



禁止

- 中性洗剤以外は使用しないでください。
  - お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
    - ・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
      - ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
    - ・ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
    - ・クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
    - ・ナイロンたわし・メラミンフォームなど
- 製品の割れや変色変質の原因となります。



必ず実行

### ケガ・故障・水漏れのおそれ

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。



すぐ拭く

## 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・可動部分を点検する。

### 注意

### やけど・ケガ・故障・水漏れのおそれ



必ず実行

定期的な、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的な、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

やけど  
ケガ  
故障  
水漏れ

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



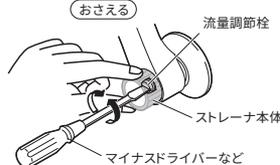
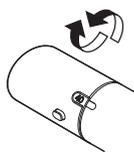
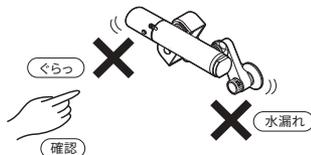
必ず実行

日頃から、ときどき温度調節ハンドル・流量調節栓を回してください。(月1回を目安) 流量調節栓を回す際は設定位置を確認し、ストレーナ本体をもって回した後に、元の位置に戻してください。

やけど  
故障  
水漏れ

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。流量調節栓を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因となります。

参照：取扱説明書 使用編



- 漏水を確認した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を開めてください。
- 可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になります。

※異常を発見した場合は、裏面12●を参照してください。

# 9 ● 摩耗劣化部品の交換時期について

摩耗劣化部品とは『日頃使用する度に揺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品』のことです。これらが摩耗・劣化すると、水漏れの原因となります。

摩耗劣化部品の例 ・サーモカートリッジ ・逆止弁など

## 摩耗劣化部品の交換時期：5年（目安）

※交換時期は使用環境などにより異なります。

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

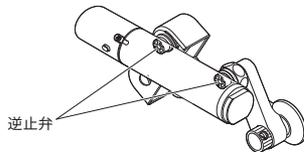
お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買換え  
ご検討

## 逆止弁の交換時期は、3～5年が目安です。

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。



※逆止弁の交換を依頼される場合は、裏面12●を参照してください。

# 10 ● 故障？その前に確認すること

●修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

流量が少ない。	高温しかでない。	低温しかでない。	温度調節がうまくできない。	水はねが気になる。
◇ 流量調節栓は開いていますか。 → <b>A</b>	◇ 水側の流量調節栓は開いていますか。 → <b>A</b>	◇ 湯側の流量調節栓は開いていますか。 → <b>A</b>	◇ 湯側・水側の流量調節栓は開いていますか。 → <b>A</b>	◇ 流量調節栓は絞っていますか。 → <b>A</b>
◇ ゴミづまりはありませんか。 → <b>B</b>	◇ 温度調節ハンドルの設定は合っていますか。 → <b>C</b>	◇ 給湯機から湯がきていますか。 → <b>D</b>	◇ ゴミづまりはありませんか。 → <b>B</b>	
		◇ 温度調節ハンドルの設定は合っていますか。 → <b>C</b>	◇ 温度調節ハンドルの設定は合っていますか。 → <b>C</b>	◇ 給湯機から湯がきていますか。 → <b>D</b>
<b>A</b> 流量調節栓で流量を調節してください。	<b>B</b> ストレーナの掃除をしてください。	<b>C</b> 温度調節ハンドルの設定を確認してください。	<b>D</b> 給湯機の設定温度・作動を確認してください。	
参照：取扱説明書 使用編	参照：取扱説明書メンテナンス編	参照：取扱説明書 使用編	参照：取扱説明書 使用編	

上記の点検を実施されても不具合がなくなる場合、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。修理される方は、下記の表に従って点検してください。

**各接合部及びハンドル部から水が漏れる。**

老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。ハンドルからの水漏れの場合は、サーモカートリッジを交換してください。

参照：施工説明書 確認欄。

# 11 ● 漏水したら！！

- 漏水した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を開けてください。
- 流量調節栓の開め方については、取扱説明書 使用編 4. を参照ください。

## 元栓の開め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

- ※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※ 一部の地域では左回しの場合があります。
- ※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

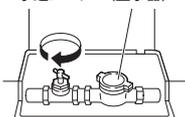
### 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

ハンドル式

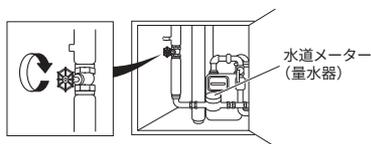
キー式

水道メーター(量水器)



### マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



# 12. 保証とアフターサービス・保証書

## 〔保証・アフターサービスについて〕

- 保証・アフターサービスは、自動水栓の専用説明書をご確認ください。

## 〔保証書について〕

- サーモユニットの修理サービスを依頼される前に、**10** . をご確認ください。
- 保証書は自動水栓の専用説明書に含まれております。

## 〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。ご不明な場合は下記までお問合せください。

（株）ミナミサワ アフターサービス窓口 TEL：0120-474-647（平日10時～17時）

## ⚠ 警告



分解禁止

修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解したり、修理・改造をしないでください。けがをしたり、故障・破損のおそれがあります。

## 品番の確認方法

水栓の右側裏面の貼付シール  
をご確認ください。



（例） 品番

U12-20X3-MM  
1234567890 G  
製造番号